## DEAR PRUDENCE

ディア・ブルーデンス

Words & Music by John Lennon and Paul McCartney

女優のミア・ファーローの妹、プルーデンスをモデルに書いたナンバー。イントロとエンディングのギターIIが印象的。ここのアルペジオは押さえ方は難しくないのだが、右手のピッキングにくせがあるので反復練習が必要である。とくに1拍目が5弦開放から出るので注意。このギターIIとIIIは6弦開放はDにチューニングされていて、タブ譜もそれに合わせてある。6弦をDに落とした時は、アルペジオであまり強くピッキングすると、弦の振幅が大きくなり、音がゆれてしまうので気を付けたい。回からはギターIVが登場し、オクターブ・ユニゾンでダビングされている。現在ではハーモナイザーの使用により、1本のギターで代用できる。回の3小節目3拍目にスライドが出てくるが、これは大事に弾きたい。その後のチョーキングも粘っこく。回、回のギターは



















